資料2

新時代の都市型イルミネーション
世界が認める夜景観光資源の創出へ



一般社団法人 夜景観光コンベンション・ビューロー
代表理事　丸々もとお

YAKEI Convention & Visitors Bureau

仙台市の夜景観光に対する取り組み



仙台市は近年「日本夜景遺産」認定の他、SENDAI 光のページェントをはじめとした夜景イベントが続々と誕生。（仙台七タナイトフェス、ルミナクト等々）。

前回の「日本新三大夜景」認定では夜景観光士の投票で認定プロジェクト初となる、全国第９位ランクインまで上昇！他都市に迫る勢いで成長しているのです。















日本夜景遺産

＜仙台市の日本夜景遺産＞①SENDAI光のページェント ②仙台城跡
③ SS30　④瑞鳳殿　⑤仙台・青葉まつり 宵まつり　⑥仙台大観音
⑦仙台七夕まつり

さらに！
本年新たに２つが誕生！
⑧AER展望テラス
⑨仙台・３大タワーライトアップ





＜本事業を通じて目指すもの＞

新たなナイトコンテンツを創造＆継続事業化し、仙台の夜景観光都市としてのイメージを認知向上。
将来的には日本を代表する夜景都市として、「日本新三大夜景」に選出されることを目指しています。

本イルミネーション事業が目指すもの

LEDイルミネーションが普及して20年以上。いまや街路樹イルミネーションは全国各地で実施されています。
一般的には樹木への巻き付け装飾が中心となりますが、街路樹演出の中で最も斬新され、世界的なブームとなった
街路樹イルミネーションが、フランス・パリのシャンゼリゼ通りで取り入れられた「スノーフォール演出」です。
当時、その革新性が世界を席巻し、「スノーフォール型」イルミネーションの価値が全世界へと広がったのです。

LED普及以降の一般的な街路樹イルミ



世界を席巻したパリのシャンゼリゼ通り



パリのスノーフォール誕生以降（10年以上）、街路樹イルミ
における革新的な光の演出や技術は誕生していません。そこで、
日本有数のケヤキ並木という資源を活かし、最新のテクノロジーを
取り入れた新時代の「街路樹イルミネーション」を創出します。
本事業は世界のイルミネーションをリードする存在を目指します。

本イルミネーションで目指すべき価値
＝世界をリードする新時代の
街路樹イルミネーションの創造

２年目のSENDAI Bright-Nights STORYについて

SENDAI
Bright-Nights
STORY

「SENDAI Bright-Nights Story」に込めた想い

本名称の『SENDAI(センダイ) Bright(ブライト)-Nights(ナイツ) STORY(ストーリー)』は、
各エリアにおいて最新テクノロジーも活用した世界観を演出し、来場者の皆様に
自分だけの輝く夜（Bright Night）の物語を感じ取っていただきたいという意味を込めています。

”Bright-Nights” ＝”ブライトナイツ”＝”ひとりひとりが輝く夜 ”

タイトルを検討するにあたり、単なるイルミネーションイベントという類似性を避け、
「イルミネーション」という言葉はあえて使わず、ナイトタイムエコノミー、
夜景観光、ナイトイベント等に共通する言葉である「夜（Night）」をベースにしています。

また、光線・光学・光彩・光景・威光・発光・観光等の様々な意味を持つ”光” という言葉に、
“輝き”の意味を強調する”Bright”を使用。夜間照明そのものを指す”Night-Brights” という言葉もありますが、
滞在型観光に直結するインバウンド需要を見込み、外国人向けにも転じた言葉”Bright-Nights” をテーマとしました。

光の価値の最大化と世界水準の街路樹演出の実装へ

定禅寺通を舞台に　規模感と迫力を感じる
刺激的な仕掛けで新たなストーリーを構築

令和９年１月15日(金)～２月28日（日）

全体的な演出の考え方

「光の旅路」

・定禅寺通を大きく4つのエリアに分け、来場者が「光の旅」を体験できる演出を設計
・各エリアで異なるテクノロジーや光の質を用いながら「光の世界」を表現し、全体で一つの物語を構成

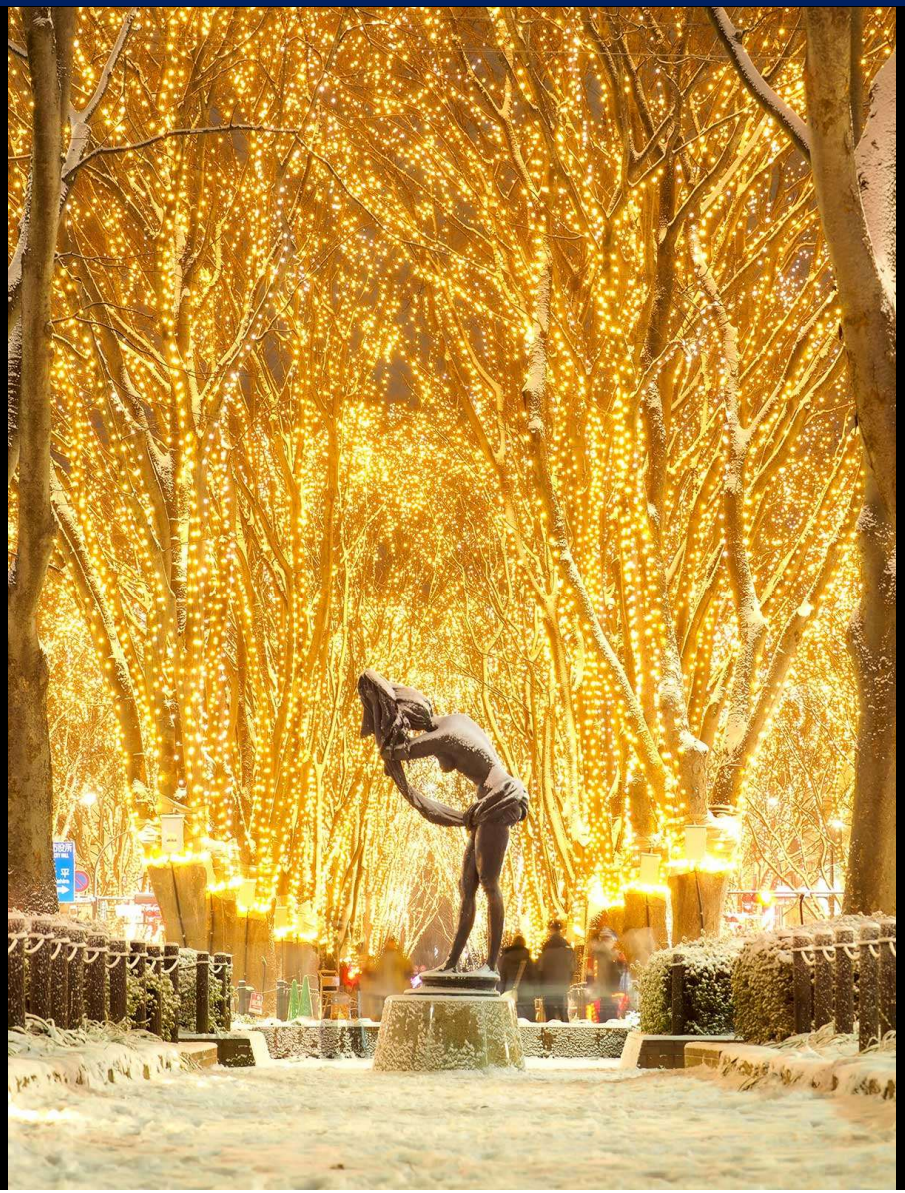
4つの光世界（A→B→C→Dのストーリー構成）

昨年のように、勾当台公園と定禅寺通で演出を分散させずに、**定禅寺通に一本化**

三越前から西公園にかけて

Aエリア：光のページェント	（令和8年度　特別演出）
Bエリア：Chromawave Wall／クロマウェーブ・ウォール	（バージョンアップ）
Cエリア：Luminous Tanabata／ルミナス・タナバタ	（新エリア）
Dエリア：Veins of Light／ヴェインズ・オブ・ライト	（新エリア）

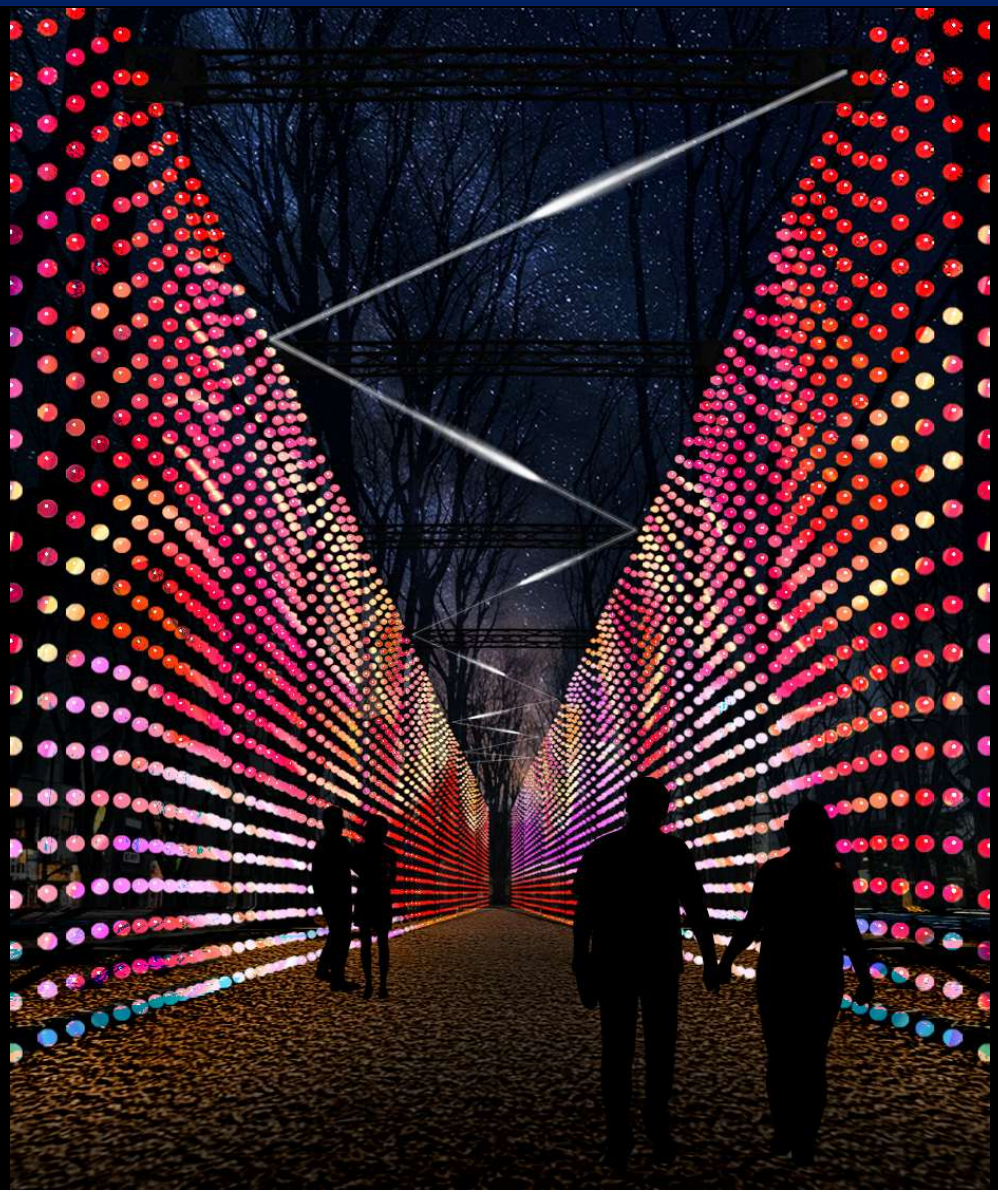
各演出について



仙台の冬の風物詩と
初のコラボレーション！

SENDAI光のページェント

仙台の冬の風物詩「SENDAI光のページェント」が、
本演出の最初のエリアである三越前エリアに登場。
「International Illumination Award 2025」では、
イルミネーションイベント部門で全国第4位を獲得。
本年はSENDAI Bright-Nights STORYと初のコラボ。

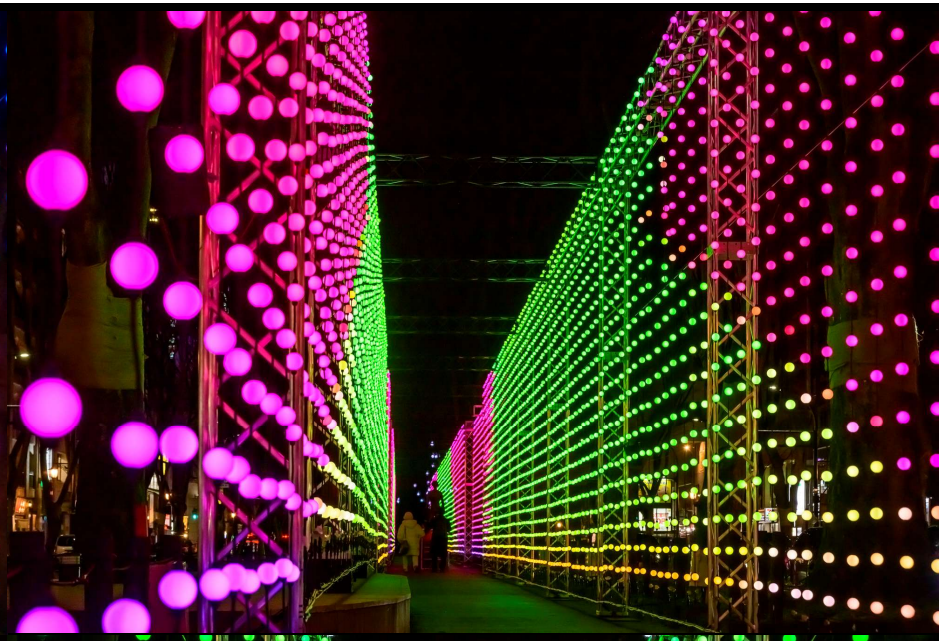


Chromawave Wall
（クロマウェーブ・ウォール）

昨年好評を博した最新テクノロジーを活用した街路樹演出。天空には光の流れ星を加えることで遠近感を創出し、光の壁の存在感をさらにバージョンアップ。光の壁には新たな光のプログラムを取り入れ、昨年以上の感動とフォトジェニックさを来場者に感じていただきます。

壁全体が様々な色彩や
グラフィックに変化











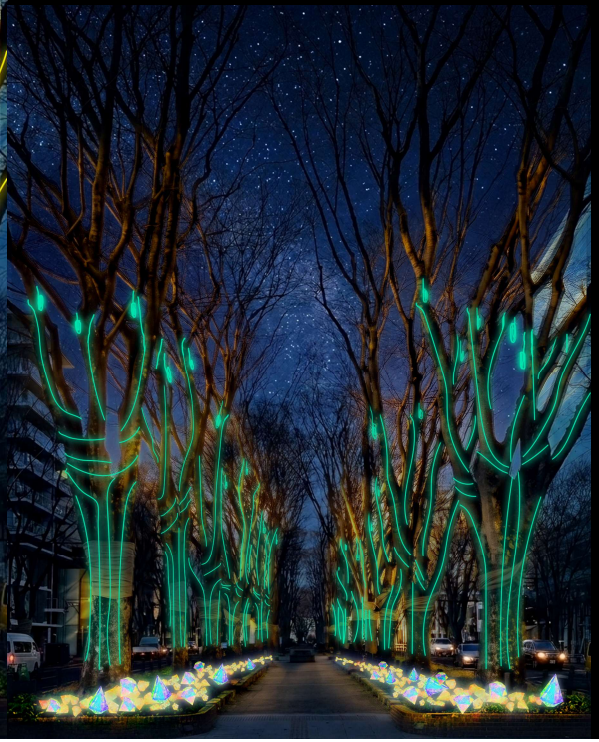
Luminous Tanabata
（ルミナス・タナバタ）

仙台を代表する夏の風物詩「仙台七夕まつり」の夜の世界観を表現した、和の情緒溢れる世界観を創出。上空は光の竹細工（5色）で埋め尽くしつつも、足元にも竹鞠を配置。「願いを光り輝かせる」という意味を持たせた手作り感を組み合わせた光の演出です。



Veins of Light（ヴェインズ・オブ・ライト）

ケヤキの高さを活用し、LEDネオンをケヤキに取り付けた世界最大級の光演出です。タイトル案は「光の葉脈／水脈」という意味。まるで樹木に流れる水脈のようで、ケヤキの抱く生命力を光で表現しています。さらに足元にはプリズムオブジェを設置。多彩に光が移ろう幻想的な演出のコラボレーションです。



今年のイルミネーションは定禅寺通に一本化。

今年はバージョンアップした「Chromawave Wall」のほか、
新たに「Luminous Tanabata」と「Veins of Light」を加え、
日本一の街路樹系イルミネーションを目指します。

各エリアの演出が絵画や芸術作品ではなく、
わかりやすいフォトジェニックさで感情を刺激する演出として昇華。



進化版「SENDAI Bright-Nights STORY」にご期待ください。
さらに、今回は仙台・冬の風物詩「光のページェント」とコラボレーション。

さらに輝きを増した世界を繰り広げます。

総合プロデューサー　丸々もとお